

受託研究審査委員会議事概要

委員会開催日：2022年11月16日(水曜日) 15時30分～15時55分

会議場：第一会議室

出席者：金澤 秀紀(委員長)、森田 有紀子、松井 利浩、大松 華子

山中 隆夫、勝海 学、小山 陽子、岩間 大勝、石田 秀志、高橋 正身

委員長より、審議及び採決の際は当該治験に関与する委員の退席を求める旨が伝えられた。

1 新規受託研究

- | | |
|-----|------------------------------|
| (1) | オボムコイドを含まない鶏卵のアレルゲン性評価に関する研究 |
|-----|------------------------------|

【審議事項】

臨床研究実施の妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

2 安全性情報等報告及び治験に関する変更報告

- | | |
|-----|--|
| (2) | 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)肺炎に対するPAI-1阻害薬TM5614のプラセボ対照二重盲検第II相医師主導治験 |
|-----|--|

【治験依頼者：関谷 潔史】

【成分記号：TM5614】

【対象疾患：新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)肺炎】

【開発の相：II相】

【審議事項】

モニタリング実施状況報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

- | | |
|-----|--|
| (3) | 尿路上皮癌及び線維芽細胞増殖因子受容体遺伝子異常を有する患者を同定するバイオマーカー研究 |
|-----|--|

【審議事項】

研究期間が1年を越えるため、研究を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

- | | |
|-----|---|
| (4) | 複数生物学的製剤使用環境下における重症喘息前向きコホート研究(呼称：PROSPECT研究) |
|-----|---|

【審議事項】

研究期間が1年を越えるため、研究を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(5)	医療用医薬品の外用療法では疾患のコントロールが十分でない、又は外用療法が医学的に推奨されない、中等症から重症のアトピー性皮膚炎を有する小児患者における、前向き、観察的、縦断的研究 (Pediatric Study in Atopic Dermatitis : PEDIATAD)
-----	--

【審議事項】

研究期間が1年を越えるため、研究を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(6)	クリッププレートシステムの自主的使用成績調査（非 GPSP・観察研究）
-----	-------------------------------------

【審議事項】

調査期間が1年を越えるため、調査を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(7)	アストラゼネカ社の依頼による EGPA 患者を対象としたベンラリズマブの有効性及び安全性を評価する試験 【治験依頼者：アストラゼネカ株式会社】 【成分記号：ベンラリズマブ】 【対象疾患：EGPA】 【開発の相：Ⅲ相】
-----	--

【審議事項】

院内で発現した重篤な有害事象に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験実施計画書の改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

科学的知見を記載した文書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(8)	サノフィ株式会社の依頼による再発型多発性硬化症(RMS)患者を対象とした SAR442168 の第Ⅲ相試験 【治験依頼者：サノフィ株式会社】 【成分記号：SAR442168】 【対象疾患：再発型多発性硬化症(RMS)】 【開発の相：Ⅲ相】
-----	---

【審議事項】

措置報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

国内外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

レターの発行に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(9)	サノフィ株式会社の依頼による一次性進行型多発性硬化症(PPMS)患者を対象とした SAR442168 の第Ⅲ相試験 【治験依頼者:サノフィ株式会社】 【成分記号:SAR442168】 【対象疾患:一次性進行型多発性硬化症(PPMS)】 【開発の相:Ⅲ相】
-----	---

【審議事項】

措置報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

国内外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

レターの発行に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(10)	サノフィ株式会社の依頼による再発を伴わない二次性進行型多発性硬化症(NRSPMS)患者を対象とした SAR442168 の第Ⅲ相試験 【治験依頼者:サノフィ株式会社】 【成分記号:SAR442168】 【対象疾患:二次性進行型多発性硬化症(NRSPMS)】 【開発の相:Ⅲ相】
------	--

【審議事項】

措置報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

国内外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

レターの発行に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(11)	帝人ファーマ株式会社の依頼による慢性流涎症(唾液過多)患者を対象とした NT 201S の第Ⅲ相試験 【治験依頼者:帝人ファーマ株式会社】 【成分記号:NT201S】 【対象疾患:慢性流涎症(唾液過多)】 【開発の相:Ⅲ相】
------	--

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(12)	既存治療で効果不十分又は既存治療の実施が困難な活動性の関節リウマチ患者を対象とした IDEC-C2B8 の有効性及び安全性を検証する臨床第 III 相試験 【治験依頼者:全薬工業株式会社】 【成分記号:IDEC-C2B8】 【対象疾患:関節リウマチ】 【開発の相:Ⅲ相】
------	---

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験実施計画書の改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

同意説明文書の改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

患者評価シートの改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験参加カードの改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(13)	A multicenter, open Label study to assess the safety and efficacy of rIsankizuMab for MaInTenance in moderate to severe pLaquE type pSoriaSis(LIMMITLESS) 中等度から重度の慢性局面型乾癬に対する維持投与における risankizumab の安全性及び有効性を評価する多施設共同、非盲検試験(LIMMITLESS 試験) 【治験依頼者:アッヴィ合同会社】 【成分記号:ABBV-066 (Risankizumab)】 【対象疾患:慢性局面型乾癬】 【開発の相:Ⅲ相→Ⅳ相】
------	--

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験分担医師氏名リストの改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

添付文書の発行に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(14)	A Phase 3 Randomized, Placebo-Controlled, Double-Blind Study to Evaluate Upadacitinib in Combination with Topical Corticosteroids in Adolescent and Adult Subjects with Moderate to Severe Atopic Dermatitis 中等症から重症の青少年及び成人アトピー性皮膚炎患者におけるステロイド外用薬併用下のウパダシチニブの第 III 相無作為化プラセボ対照二重盲検試験
------	--

	<p>【治験依頼者:アップティ合同会社】</p> <p>【成分記号: upadacitinib(ABT-494)】</p> <p>【対象疾患: アトピー性皮膚炎】</p> <p>【開発の相: III相】</p>
--	---

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

使用上の注意改訂(添付文書改訂)のお知らせに基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験分担医師氏名リストの改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(15)	<p>A Phase 3, Multicenter, Randomized, Placebo-Controlled, Double-Blind Study to Evaluate Risankizumab in Adult Japanese Subjects with Moderate to Severe Palmoplantar Pustulosis 中等症から重症の掌蹠膿疱症を有する日本の成人被験者を対象とした、リサンキズマブの第 III 相多施設共同無作為化プラセボ対照二重盲検試験</p> <p>【治験依頼者:アップティ合同会社】</p> <p>【成分記号: ABBV-066 (Risankizumab)】</p> <p>【対象疾患: 掌蹠膿疱症】</p> <p>【開発の相: III相】</p>
------	---

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

添付文書の発行に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験分担医師氏名リストの改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(16)	<p>日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による掌蹠膿疱症(PPP)患者を対象とした Spesolimab の非盲検長期第 II 相試験</p> <p>【治験依頼者: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社】</p> <p>【成分記号: BI 655130】</p> <p>【対象疾患: 掌蹠膿疱症(PPP)】</p> <p>【開発の相: II 相】</p>
------	---

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

措置報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験分担医師氏名リストの改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

	サノフィ株式会社の依頼によるアトピー性皮膚炎を有する日本人患者でのデュピルマブ試験 【治験依頼者：サノフィ株式会社】 【成分記号：SAR231893(デュピルマブ)】 【対象疾患：アトピー性皮膚炎】 【開発の相：Ⅲ相】
--	---

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験実施計画書別紙の改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

	再燃又は難治性の好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)成人患者を対象とした depemokimab の第Ⅲ相試験 【治験依頼者：(治験国内管理人)サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会社】 【成分記号：depemokimab】 【対象疾患：好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)】 【開発の相：Ⅲ相】
--	---

【審議事項】

治験薬概要書の発行に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験分担医師氏名リストの改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

	変形性膝関節症患者を対象とした NaPPS の第Ⅱ相試験 【治験依頼者：株式会社レクメド】 【成分記号：NaPPS】 【対象疾患：変形性膝関節症】 【開発の相：Ⅱ相】
--	---

【審議事項】

治験実施計画書の改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

同意説明文書の改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

3 終了報告等

(20)	ラジカット注 30mg、ラジカット点滴静注バッグ 30mg 特定使用成績調査（筋萎縮性側索硬化症）
------	---

【報告事項】

調査終了の報告

(21)	デュピクセント [®] 皮下注 特定使用成績調査(長期使用に関する調査)
------	---

【報告事項】

調査終了の報告

(22)	腰椎椎間板ヘルニア患者を対象としたヘルニコア椎間板注用 1.25 単位の一般使用成績調査
------	--

【報告事項】

調査終了の報告